



地域の構成員として地域を守る取組に参画

殿垣内資源保全会ほか7組織（広島県庄原市）

- 殿垣内地区を含む広島県庄原市山内地区は、広島県東部の庄原市の西部で庄原市街と三次市街の中間の中国山地のふもとに位置する中山間地域であり、地区内の竹林整備で発生した廃材の竹を堆肥として活用したブランド米「里山の夢」を生産している稻作地帯である。
- 平成19年度から農地・水・環境保全向上対策に取り組み、地域ぐるみで地域資源の保全活動を実施しているが、活動参加者の高齢化、減少など地域自体の活力が低下していることを実感している。
- 農地の保全活動だけ無く、ブランド米生産や地域の活力を確保し、地域を存続させていくために、新たな取組を行っていくことが必要との危機感を地域住民それぞれが有している。
- 活動組織は地域の構成員として、自治振興区全体（小学校区）で取り組む農村RMOモデル形成支援事業の実施にあたって会議や視察に参加するなど地域の合意形成に協力。

地域の状況や課題

- 庄原市は生涯学習を地域住民主体で行っていた公民館の制度をまちづくりも地域住民主体で行う自治振興区に制度を改革。更に市単独事業で自治振興区に支援を実施。
- 地域資源である竹を有効活用する取組を行い、ブランド米の栽培を開始。
- 高齢化・人口減少によって、ブランド米生産農家が減少し、ブランド米生産が必要に追いつかない状況。
- 多面的機能支払交付金の事務作業の労力が負担となり、一部活動組織は事務作業を庄原市土地改良区に委託。
- 40年以上前に整備された農地は老朽化し、農家が減少している状況の中、更なる生産性向上が求められている。

地域みんなでの取組

- ブランド米生産の確保や地域の活力維持のためには新たな取組が必要との危機感から自治振興区として新たな事業に取り組むことを決意し、多面的機能支払交付金の活動組織をはじめとする地域の組織が庄原市山内集落地域振興協議会を設立し、自治振興区と一体となって農村RMO事業の取組を開始。

庄原市山内自治振興区
(まちづくり・生涯学習)

協同

- | 農村RMOの取組
(事務局には多面活動組織メンバー参画) |
|---------------------------------|
| 多面的機能支払 8活動組織 |
| 中山間地域等直接支払 14協定 |
| 担い手法人、営農集団、認定農業者等 |
| 自治会 14自治会 |
| 庄原市消防団山内西分団 |
| 山内社会福祉協議会 |
| 山内女性会 |
| 協同組合庄原里山の夢ファーム |

【地区概要】

- (殿垣内資源保全会ほか7組織)
- ・取組面積：288.2ha
(田 288.1ha、畠 0.1ha)
 - ・資源量：水路 65.4km、農道 40.3km、ため池 39箇所
 - ・主な構成員：農事組合法人、営農組合、自治会他
 - ・交付金 11.6百万円 (R6)
- 農地維持支払
資源向上支払(共同)

地域の一員として

- 農村RMO事業が採択後、地域の将来にむけて、数々の取組を実施。
- 多面的機能支払交付金の活動組織も、農地の保全活動を行いつつ、意見交換会、先進地視察等に積極的に参加。
- 地域の農業、農地を守っていくため、ほ場の再整備について、合意形成を始めるなど新たな局面に進歩。

農村RMO通信

第20号 山内自治振興センター
庄原市山内町513-4
TEL・FAX(0824)74-0451
E-mail:yamanouchi.jichi@gmail.com
農村RMOは、住民の生活支援などに加え、農業・農地に関する活動を支援する組織のモデルづくり事業です。

山内地区 圃場再整備説明会を開催



